

和寒町の景観に配慮した

美しいまちづくり事業

美しいまちづくり事業とは？

和寒町では、これまで先人たちが守り育てた歴史や風土を次世代へ伝えるため、町民主体のまちづくり実現に尽くしてきました。

これから迎える時代を、行政と町民がそれぞれの役割を果たし、共に支えあい、結びあい、自らが自分達の手で主体的に【わっさむ町】を築く為の取り組み、和寒町出身者にとって心のふるさとを、将来にわたって【小さいながらも、美しいまちとして残していく】取り組みが必要となります。

そうした【わっさむ町】の実現のため「美しいまちづくり事業」を展開していきます。

今年度においては、「景観の美しさ」を軸とした活動を進めてまいります。団体や自治会等で行っている清掃活動や花壇整備など環境美化の活動を、広報誌等で紹介し、町民主体の環境美化活動の推進を進めていきます。

第1回目は4団体の活動についてご報告いたします。

和寒町フラワーロード

ボランティアアクラブ

【フラワーロード】

和寒町フラワーロードボランティア

アクラブは現在99名の会員で構成されており、平成16年から植栽活動を実施しています。

64基の花台に128個のプランターを設置し町民の皆さんをはじめ、国道の通行者からも好評を得ています。

設置戸数が多く手入れや水やりは当番制で行っておりますが、会員の理解と協力のおかげで10月まできれいな状態で保つことができています。



国道40号沿い 「フラワーロード」

仲町自治会シルバーホープ

【保養センター前花壇整備】

仲町自治会の「シルバーホープ」で毎年実施しています。シルバーホープは仲町自治会の60歳以上で構成されており、土おこしから植栽、草取りなどの管理と、隣接している中

央公園の草取りも合わせて実施しています。

土を耕すときは機械が入らないため手作業で行っており、大変手間と労力がかかっています。



保養センター前花壇

大通り自治会 女性部

【花ハンギング】

大通り自治会女性部は大通り自治会内の既婚女性で構成されています。ハンギングとは、吊り鉢などで植物を上や横から見るとガーデニングの手法で、大通り自治会女性部では、他の団体が行っていない方法で花を飾ることを検討した結果、大通りの水銀灯に花を吊るす方法で、3年前から実施してきました。ハンギングはプランターより手間がかかり管理が大変です。町民のかたから「綺麗だね」「ご苦労さまです。」と声をかけられることが何よりもうれしく、今後も続けていきたいとお話でした。



大通り「花ハンギング」

ボランティアアクラブ

【青少年会館横花壇整備】

6月10日に450本の植栽を行い、適時草取りをして、近くを通る人や青少年会館を利用する方に好評をいただいています。

クラブメンバーの植栽に詳しい方から、花を植えるレイアウトや整備などアドバイスを受けながら実施しています。

近くに水場がないため、タンクなどに水を入れて運んでおり、管理には大変ご苦労されています。

また、雪の堆積場所にもなっているため土壌も不安定で、毎年有志で土を提供いただいています。



青少年会館横花壇